

令和4年度第1回4機構公共工事入札監視委員会 議事概要

開催日等	令和5年2月17日(金) 10:00~12:00 Web会議形式(Zoom)による開催	
委員	委員長 竹内 啓博(公認会計士) 委員 溝内 健介(弁護士)	
幹事機関	大学共同利用機関法人人間文化研究機構	
審議対象期間	令和3年4月1日~令和4年3月31日	
審議対象抽出案件	5件	(備考) 抽出案件の個別審議については、次頁のとおりである。  対象案件の審議は次頁に示したとおり、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
建設工事	4件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記を除く)	3件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	別紙のとおり
	回答等	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件

番号	機 関 名 (発注部局)	建設工事及び設計・コンサルティング業務 の名称
1	人間文化研究機構 (国文学研究資料館)	(立川) 国文学研究資料館空調設備取設工事
2	自然科学研究機構 (核融合科学研究所)	開発実験棟等空調設備改修工事
3	高エネルギー加速器研究機構 (本部)	(東海) ニュートリノ第1設備棟密閉式冷却塔等 増設機械設備工事
4	情報・システム研究機構 (国立遺伝学研究所)	(谷田(遺伝研)) RI 実験棟改修工事
5	情報・システム研究機構 (立川共通事務部)	南極昭和基地夏期隊員宿舎 新営設計業務

意見・質問	回答
<p>議題1：4 機構において発注を行った建設工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随意契約の件数は、委員としても注目しているので、次回以降は比較可能なよう、前年度の随意契約件数も情報提示をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 了解した。</li> </ul>
<p>議題2：4 機構において発注を行った設計・コンサルティング業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約率だけを見れば、簡易公募型プロポーザル方式（拡大）と一般競争入札方式では契約率が異なるが、契約方式で契約率は変動するものなのか。</li> <li>・ 入札方式の決定について方針等はあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全て、そうではないが、一般競争入札方式は価格競争のため契約率が低くなる傾向。プロポーザル方式は、提案書等により業者選定し契約交渉を行うため、契約形態は随意契約に近く、契約率が高くなる傾向。</li> <li>・ 発注側の判断によるが、一般的に高い技術力を必要とする場合はプロポーザル方式、そこまで技術力を必要としない場合は一般競争方式となることが多い。</li> </ul>
<p>議題3：指名停止等の措置状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	<p>—</p>
<p>議題4：随意契約（不落随契を除く）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	<p>—</p>
<p>議題5：審議対象建設工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	<p>—</p>
<p>議題6：抽出案件の審議</p>	
<p>1. 人間文化研究機構（国文学研究資料館）（立川）国文学研究資料館空調設備取設工事【少額でない随意契約】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2回の入札における辞退者の理由の1つとして、技術者が配置できないとの辞退理由はどのような状況なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な理由までは確認していないが、業者が配置予定としていた技術者がコロナ感染等により配置できなくなり、代替りの人員がない等の人手不足によるものと想定している。また、民間発注の工事契約等で配置予定技術者を充てざるを得ず、予定技術者が配</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随意契約交渉を行う場合、1回目、2回目の入札を辞退した業者に声掛けをすることはしないのか。</li> <li>・ 随意契約を行った業者は、入札情報を集めていなかったとも見れる。情報収集は業者側の判断であると認識するが、その点、何か確認しているのか。</li> </ul>	<p>置できない場合も想定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 状況による。</li> <li>・ 契約締結業者は、本工事の公告時は別の工事に参加していたことを確認済み。情報収集の判断は委員の認識のとおりであり、入札参加についても業者判断によるものである。</li> </ul>
<p>2. 自然科学研究機構（核融合科学研究所） 開発実験棟等空調設備改修工事 【低入札者80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札結果では業者の評価点と入札価格により評価値が決定されている。今回の結果は入札価格により競争参加資格認定時の評価点を逆転しているのか、入札価格のウエイトが大きいのか。</li> <li>・ 入札結果の評価値算定はどのように設定しているのか。</li> <li>・ 低入札価格調査を行った訳であるが、低入札調査のための最低基準価格の決定はどのように行われるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すべてがその通りとはならないが、今回は入札価格のとおり結果となっている。</li> <li>・ 国の電子入札システムを用いており、システムにより算定される。</li> <li>・ 国から示された計算式に基づき算出している。</li> </ul>
<p>3. 高エネルギー加速器研究機構（本部） （東海）ニュートリノ第1設備棟密閉式冷却塔等増設機械設備工事 【低落札、低入札者80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札結果として、入札者全てが最低基準価格を下回る入札を行っている。予定価格との乖離状況についてどのように考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低入札調査結果のとおり、業者の企業努力が大きいと思われる。具体として機器価格であり、予定価格算出時に市場流通等を参考に機器価格を定めているが、入札者の機器価格は当方の想定を大きく下回る価格であった。</li> </ul>
<p>4. 情報・システム研究機構（国立遺伝学研究所） （谷田（遺伝研））RI 実験棟改修工事 【低入札者80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該事業は総合評価形式による評価を行っ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのとおりである。</li> </ul>

<p>たことから、価格のみではなく評価点を加味された結果となっている。このことは、総合評価形式として、発注者が求める技術力を確保する観点を満足する結果になったと言えるのではないか</p>	
<p>5. 情報・システム研究機構（立川共通事務部） 南極昭和基地夏期隊員宿舎 新営設計業務 【一者応札、契約率100%】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100%の契約率は、結果として額が合致した結果なのか。参加者が予定価格を知っていたということではないのか。</li> <li>・南極という極地での建物設計だが、今後工事発注が行われるのか。</li> <li>・輸送等はどうされるのか。</li> <li>・部材調達は設計者に対し発注されるのか。</li> <li>・極地用施設の資材設計との事であるが、契約者以外に設計可能な者はいないとの認識で良いか。</li> <li>・結果を見れば、契約者以外に対応できる業者がいなくても見てとれるが、安易に随意契約を行わず競争性を確保されたことは評価できる。</li> <li>・業務の特殊性は理解するが、幅広に見積を徴収し競争性を高めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札後に内訳確認を行い、算定時の市場価格と差異が生じている事項を確認しており、入札額が予定価と合致した結果と考えている。</li> <li>・当該建物は現地にて調査隊員が作成する。今回の設計は組立用資材作成のための設計であり、物品調達として作成資材を調達する。</li> <li>・調査隊の渡航に合せ、運搬される。</li> <li>・本設計は、あくまでも部材加工用の設計であり、資材調達は別業者からとなる。</li> <li>・近似的な条件としては北海道が挙げられ、過去の経緯を見ても複数者存在している。今回の公募時においても、3者ほど興味を示していたが、結果的に1者となった。</li> <li>・機構としても、公共性を高めることが重要と考えている。</li> <li>・了解した。</li> </ul>
<p>【抽出案件の審議結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各審議において、委員として確認したい事項を確認できたことから、特段問題となる事項はなかった。</li> </ul>	
<p>議題7：その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>—</p>